

2016年度 CSIS 共同研究

No. 693

# 地域や建物の名称を通じたイメージの形成に関する研究

## 報告書

2016年03月

### 研究代表者

東京大学大学院工学系研究科/教授/浅見泰司

### 共同研究員

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻/大学院生/鈴木 雅智  
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻/大学院生 修士課程/森岡 涉  
東京大学工学系研究科都市工学専攻/学生/對間 昌宏  
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻/学生/小池 束紗  
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻/学生/金洪稷  
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻/博士課程/山岡 馨

### CSIS教員

浅見 泰司

2017 年 3 月 22 日

東京大学空間情報科学研究センター  
共同研究事務局 御中

東京大学大学院工学系研究科  
都市工学専攻  
鈴木雅智

## 2016 年度 CSIS 共同研究報告書

研究題目：地域や建物の名称を通じたイメージの形成に関する研究

共同研究番号：693

研究代表者：浅見泰司

事務担当者：鈴木雅智

参加研究者：

浅見泰司（東京大学大学院工学系研究科）

鈴木雅智（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻）

森岡渉（東京大学大学院 新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻）

對間昌宏（東京大学工学系研究科都市工学専攻）

小池東紗（東京大学大学院 新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻）

山岡馨（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻）

利用データセット：

4013199700 Zmap TOWN II 1997/98 年度 (Shape 版) 東京都 データセット ゼンリン

4013200300 Zmap TOWN II 2003/04 年度 (Shape 版) 東京都 データセット ゼンリン

4013200800 Zmap TOWN II 2008/09 年度 (Shape 版) 東京都 データセット ゼンリン

4013201400 Zmap TOWN II (2013/14 年度 Shape 版) 東京都 データセット ゼンリン

研究報告：

マンション・アパート、店舗、オフィスビル等の建物の名前や、そこに入るテナントの名前には、「〇〇ビル」「〇〇カフェ」などの地名が含まれている。こうした地域名称の分布は、人々が形成するイメージの空間的な範囲を表していると考えられる。

2016年度は、ゼンリン住宅地図データを用いて、地域名称がつく建物やテナントの分布を地図上に可視化し、実際の町名の範囲との比較を行った。

建物やテナントにつけられる名称は、その地域の中で相対的に優位性がみられる地名が選ばれ、それが位置する町名の範囲を大きくはみ出して立地する傾向にあることが分かった。建物やテナントにつけられる名称は、町名に加えて、鉄道駅の影響も大きいと考えられる。町名の範囲が駅が及ぼす範囲に比べて小さい場合は、特に地名のはみ出しが大きくなることも分かった。

詳細は、以下の web サイトを参照されたい。

成果：

まちなみとすまい研究会 HP 「コンテンツ『まちなみと名称 その1～地域名称による空間イメージの形成～』」

<http://www.jutaku-sumai.jp/p022.html>